

全国学力・学習状況調査

—調査の概要と結果報告—

平成28年4月19日に、10回目となる「全国学力・学習状況調査」が行われました。市教育委員会では、調査の趣旨を踏まえ、結果を分析し、考察を行いました。その概要をお伝えします。

問 教育総務課学校支援係
☎ 0263②0830

調査の概要

全国学力・学習状況調査は、平成19年度から実施され、児童・生徒の学力と学習状況を全国的に把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証してその改善を図ることや、学校における教育指導の充実および学習状況の改善などに役立てることを目的としています。

■対象 小学6年生、中学3年生

■内容

- 教科に関する調査 主として「知識」に関する問題（国語A、算数A、数学A）および主として「活用」に関する問題（国語B、算数B、数学B）
- 生活習慣や学習環境に関する調査

生活習慣や学習環境に関する調査の結果（一部抜粋）

本市の小・中学生は、全国や県と比べ、おおむね良好で規則正しい生活をしています。一方、1日当たり1時間以上ゲームをしている小・中学生は、全国と同程度ですが、本市の27年度の比率よりも増加しています。ゲームに費やす時間が長いほど、教科の正答率が低い傾向が見られることから、1日の生活時間の有効活用について考える必要があります。

また、携帯電話やスマートフォンの所持率が増加しており、使用方法が全国的にも大きな問題となっています。そのため、情報機器やインターネットの使い方について、十分な配慮が必要です。

教科に関する調査の結果

全ての教科で全国および県の平均を上回る正答率

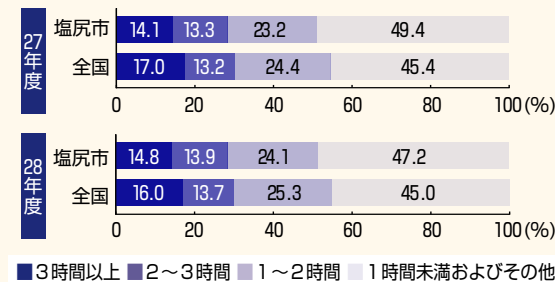
本市の小・中学生とともに、平均正答率は全ての教科で全国および県を上回る結果でした。特に、小学生の国語Bおよび中学生の数学Bは、大きく上回りました。

日々さまざまな取り組みを実践

各学校では、これまでの全国学力・学習状況調査の分析結果を生かした教科指導を進めています。

- 授業のはじめに「目標(めあて・ねらい)を示す」活動を実践
子どもたちが目標を意識し、自ら考えて主体的に授業に臨んでいます。
- 「家庭学習の手引き」を各家庭に配布
家庭学習が効果的に出来るように働きかけています。また、宿題についての評価・指導も実施しています。
- 全学年でQ-Uアンケートを実施
学級生活における満足度と意欲、学級集団の状態を測るQ-Uアンケートを実施し、子どもたちが安心して学ぶことができる学級づくりを推進しています。
- 学校と地域、保護者が連携したコミュニティ・スクール活動による学校教育の充実 など

平日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（小学6年生）



携帯電話、スマートフォンの所持率（中学3年生）

